

19限目
2月6日(金)

あこがれの先輩って?

先週、小学6年生に対して入学説明会がありました。生徒会の人たちが、中学生活の決まりや生活のようす、部活動の内容などと説明してくれました。(いよいよ)2年生は最上級生となり、1年生は先輩としての立場になります。そこで今回は、先輩というイメージについて語りたいと思います。

私は小中高とサッカーをしていて、よく全国大会に出場する有名なチームに所属していました。当然、練習も厳しければ、先輩たちも厳しかったです。中学校の時は1つ上の先輩はもう3人のことですが、2つ上の先輩ともなると、まさに雲の上の存在で、話しかけることもできないような上下関係でした。事実、そのころ一番恐ろしかったのは、親でも、先生でも、不良でもなく、サッカー部の先輩でした。『先輩の言葉は絶対であり、何事にも優先する』という状況で、先輩たちに指導され、鍛えられていました。しかし、そんな師従関係にもかかわらず、私たちの中には不思議と、先輩に対して『ムカつく!』とか『女子がん!』といった悪い感情を持つ人はいませんでした。それはなぜだと思いますか? 理由は簡単です。先輩たちがみんなサッカーに対して真剣にとり、私たち以上に練習に励んでいたからです。先輩たちは、私たちに厳しかったのですが、それ以上に自分たちに厳しかったのです。それは、サッカーに対する姿勢だけでなく、日常生活や学習に対してもそうでした。悪さをすれば、もちろんのこと、成績が落ちれば、練習には参加させてもうえまい。その上、私が行った学校は、県内でも名をとどろかせるほど荒れていた学校で、ア

校内暴力真盛りで、(したが)先輩たちは、ぶれるこことなく、正しいことを自信もって行き、間違っていることは間違っているとして、周りに流されずに過ごしていました。また、私たちができないことに対するは、丁寧にわかりやすく、一生懸命に教えてくれ、逆に、できることをしながら、(た)間違ったことをしたりした時には、それはそれは尋常じやないくらい怒られました。だから、そういう先輩の姿を見て、『先輩たちはすごい』『自分も先輩たちみたいになりたいな』とあこがれています。みなさんは、そのような先輩になってほしいと思います。

さて、もうひとつ欲を言うと、心の優しい先輩になってほしいと思います。優しい人になるといふのは、簡単そうで、意外と難しいものです。人に優しくしたり思っていたり、行なっていたり、自分のことだけを考えて、心に余裕がないたり、ちょっとしたことが気に(わな)かたりして、嫌がらせやいたずらをしてうそばうしをしています。また、自分は優しさと思ってやったことが、実は相手にとってはそうではないこともありますよね。だから難しいのです。でも、皆さんには、後輩にはない、その学年を経験したという大きな強みがあります。それが、あるから後輩の学年の気持ちを想像することができます。そして、相手がうれしいと思うことを考えて行動することができます。優しさは、人に多くてきます。あなたが誰かに優しくすることで、その人が優しい気持ちになれば、その人が他の誰かに優しくなります。そうやって、四中のみんなが優しい気持ちになれてほしい。自分には厳しく、自分を磨きあげ。人に優しい『あこがれの先輩』となっていました。

それが私の願いです。



返信よろしく
お願ひします!!